

# りくつなあん

安原工業団地協同組合 会報

2006.9  
創刊号

発行 ■ 安原工業団地協同組合 〒920-0377 金沢市打木町東1400番地(金沢市異業種研修会館内)  
TEL (076) 240-1411 FAX (076) 240-1903



## 理事長就任の挨拶

安原工業団地協同組合

理事長 谷村 達夫

この度、安嶋勇前理事長の後を受け理事長の大役を拝命し重責に苦慮しております。

前理事長の10年間にもおよぶ輝かしい功績と見事な采配ぶりを見て、私ごときに何が出来るか不安を覚えております。しかし力強い役員と職員の方々の御協力のもと私なりに努力してゆく所存ですので今後共、御助力の程よろしくお願い申し上げます。

さて、私が昭和52年に当安原工業団地に移ってきました当時は、工場も疎らで夜は真っ暗、風雪強く吹き溜まりで道路がまったくわからないという状態でした。今から思うと酷い環境でした。そんな中、地域との連携の必要性から自治組織が立ち上げられ、町会が設立され、その後、規模の拡大と共に必要に迫られ金沢市の要請や中小企業団体中央会等の御指導を受け、当工業団地の諸先輩方々のご尽力とご労苦により、安原工業団地協同組合が発足されました。

その組合も10年を経てこれからは真価を問われる時代だと思えます。

そして異業種研修会館という素晴らしい拠点が出来、近くに連携できる会社が多く有り「未知」の可能性が秘められている組合だと思えます。さらには青年部と女性部、親組合が三位一体となって工業団地を盛り上げて頂き、それぞれの役割を十分発揮し連携を取り合って、各種の事業活動を推進して頂きたいと思えます。また組合を取り巻く環境では外環状道路側道部分の完成により、工業団地の物流環境が整備され、ますます充実を計れることと思われ、更なる飛躍を迎えようとしています。また当工業団地は個性ある多様な業種が集積した団地でもあり、その特性を生かした連携が今後の活路を開くと考えます。

今後、県下有数の工業団地協同組合として、その名に恥じないよう組合員共々、工業団地として地域社会に貢献出来るよう努めてゆきたいと思えます。

最後に微力で非才の身ではございますが、組合発展に専念努力いたす存念でございますので今後とも皆様の御指導お力添えを賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。



## 退任挨拶 使命を自覚しつつ 一層の発展を

安原工業団地協同組合顧問 安 嶋 勇

本年度の第11回通常総会をもちまして安原工業団地協同組合の理事長を退任することになりました。平成8年1月に設立以来10年にわたり理事長を務めさせていただきました。

この間何かにつけて支えて下さった組合員の皆様方をはじめ、多くの方々から心からお礼申し上げますと共に、退任にあたり感謝の集いを催していただきましたことに際してここに厚くお礼申し上げます。

さて、組合設立前における当時の安原工業団地は、200社を超える企業集積地でありながら、団地開設以来約20年間、町会という自治組織で運営されていた関係上、県、市、県中小企業団体中央会はもとより、関係諸団体等の各事業に取り組むことが出来ず、又当工業団地の運営や企業の経済的活動を支援してゆくためにも、法人格をもつ協同組合の設立が強く望まれた時期でありました。このような思いから、平成5年より組合設立のための準備委員会の一員としてお手伝いさせていただきました。この間を振り返ってみますと、多くの方々との出会いや、又多くのことを学ぶことが出来、貴重な体験をさせていただきました。

ところで、私が理事長に指名されるとは思いもよらず、その創成期において、財政基盤が確立しておらず、また組合の運営、事業のあり方など数多くの問題に直面する中、その都度中央会へ足を運び指南をいただきながら運営に携ってきたことが、今でも忘れることが出来ない思い出です。

こうした中で、10年が過ぎた今日親組合のもとで、青年部、女性部が誕生し組合としての基盤が概ね確立されたと思います。

又、平成11年6月には金沢市内に点在する組合、工業団地の8団体で構成する金沢市工業団地連絡協議会の会長に就任し、組合員のご理解とご協力のもと7年間務めさせていただきました。今後共当組合がリーダー的存在を遺憾なく発揮していただき、組合、団地内の交流促進の担い手になっていただきたいと思います。

後任を引き受けていただきました谷村達夫新理事長のもとで更なる発展を遂げていくために、組合の大きな使命を自覚しつつ、事業の充実を計り、関係諸団体との連携のもと新規事業に取り組み、組合運営の要となる事務局を充実、強化し、今後一層の発展を心より念じまして、退任の挨拶と致します。

### 平成18年度 第11回定例総会報告

平成18年5月23日(火)、安原工業団地協同組合通常総会が金沢市異業種会館にて開催されました。当総会の開催時刻は、組合員の業務のことも考慮し午後6時30分からの開催で、弁当も配布され、すべての行事が協会員の便宜なることを主眼として開催されることも当協同組合の特徴となっています。

開会宣言のあと、安嶋勇理事長の挨拶から始まりました。本年度の総会は、安嶋理事長の勇退の件、さらに、協同組合の10周年記念行事が成功裏に終了できたこともあり、安嶋理事長の挨拶には感慨深い思いがありました。

議事は、議長に選出された中村俊彦理事より、組合員総数193名のうち145名(委任状出席を含む)出席との、定足数確認から始まり、下記8議案が上程され、全て原案通り可決承認されました。

- 第1号議案 「平成17年度事業報告書及び貸借対照表、損益計算書、財産目録、利益剰余金処分(案)承認の件」
- 第2号議案 「平成18年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)承認の件」
- 第3号議案 「平成18年度経費の賦課及び徴収方法決定の件」
- 第4号議案 「平成18年度借入金残高の最高限度額決定の件」
- 第5号議案 「役員報酬決定の件」
- 第6号議案 「任期満了に伴う役員選出の件」
- 第7号議案 「平成17年度金沢市異業種研修会館事業報告書及び貸借対照表、損益計算書、財産目録決算報告の件」
- 第8号議案 「平成18年度金沢市異業種研修会館収支予算書(案)承認の件」



最後に、山岸春美女性部部長より、安嶋勇前理事長へ功績を称えた感謝の言葉と、花束贈呈にて本日程を終了し散会いたしました。

### 組合役職員名一覧

|       |       |
|-------|-------|
| 理 事 長 | 谷村 達夫 |
| 副理事長  | 大平 邦久 |
| 同     | 塚本 舜  |
| 同     | 福田 増徳 |
| 同     | 山岸 春美 |
| 理 事   | 相川外志子 |
| 同     | 池田 秀樹 |
| 同     | 岩上 伸人 |
| 同     | 岡村 昇  |
| 同     | 奥野 龍雄 |
| 同     | 北 卓   |
| 同     | 北村 直樹 |
| 同     | 小番 久典 |
| 同     | 沢田 滋  |
| 同     | 田中 泰  |
| 同     | 塚本 一樹 |
| 同     | 中村 俊彦 |
| 同     | 三島 輝男 |
| 同     | 水野 康彦 |
| 同     | 米澤 卓也 |
| 監 事   | 中林 洋  |
| 同     | 米澤 昭午 |
| 顧 問   | 安嶋 勇  |
| 事務局長  | 入口 吉男 |
| 事 務 員 | 山口美枝子 |
| 同     | 東渡智恵子 |

## 『安嶋勇前理事長感謝の集い』賑やかに開催される



組合創立以来10年にわたり理事長を務め、本年5月の第11回定例総会をもって退任し、顧問に就任された安嶋氏の永年のご労苦に対し、感謝の気持ちを表したいということから、平成18年7月28日(金)午後6時30分より、金沢ニューグランドホテル4階「相生」を会場に『安嶋勇前理事長感謝の集い』が開催された。

当日は、ご来賓15名、組合員等約70名が出席。開会に先立ち、萌の会による日本舞踊が披露され、会場が和むなかで開会となった。会は中村俊彦理事の司会で進められ、始めに発起人を代表して谷村達夫理事長が挨拶に立ち、組合創立以来10年間の数々の実績とご労苦に対し深甚の謝意を述べ、今後も組合に対してのご指導を要請した。来賓挨拶では、金沢市長代理市産業局長加納明彦氏が、安原工業団地発展の推進役として、また市工業団地連絡協議会長としての数々の功績に感謝の意を表した。県中小企業団体中央会長五嶋耕太郎氏は、安原工業団地を県内最大の組合員を有し、異業種工業団地として全国的にも特異な存在に育て上げたことと賞賛した。井沢義武市議会議員は、地域に根を下ろした工業団地を作り上げたことは素晴らしいと述べた。

次いで記念品贈呈に移り、参加者を代表して山岸春美副理事長から旅行券が、大平幸枝女性部副部長から花束が手渡され盛大な拍手が沸き起こった。引き続き安嶋勇氏が挨拶に立ち、安原工業団地進出当時、町会長当時、組合創立から今日までを振り返り、多くの人に支えられ今日に至ったことに感謝の気持ちで一杯です。今後も組合の一員として団地の一層の発展に尽くしたいとお礼を述べた。

米澤昭午監事の乾杯の発声で懇親の場がスタートし、会場のそこかしこで安嶋氏との会話が始め、明るい笑い声や歓声が上がった。会は一気に盛り上がった。参加者全員があらためて安嶋氏の素晴らしい人柄に感銘を受ける中で、大平邦久副理事長が中締めの挨拶を行い、万歳を三唱し、楽しく心温まる集いはお開きとなった。

### 『おめでとう安嶋さん』 山出市長より感謝状贈呈される

安嶋勇前理事長には、この度、金沢市の工業団地振興に大きく寄与された功績に対し、山出保金沢市長より感謝状が贈呈されました。

7月26日(水)市長室で贈呈式が行われ、山出市長はこれまでのご労苦に深い感謝の意を述べ感謝状と記念品を手渡された。

安嶋氏は、「思いもかけぬことで、誠に光栄です。この感謝状は組合員全員に戴いたものと思い、今後も一層の精進を重ねたい。」とお礼を述べた。

安嶋さん、本当におめでとうございます。



## 中学生の職場体験受け入れ 2年生29名が各職場で奮闘

金沢市キャリア・スタート・ウィーク〔職場体験2006〕に協力して、安原工業団地でも地元の緑中学2年生29名が各企業で作業を体験した。

この事業は、文部科学省が全国で推進しているもので、金沢市でも中学2年生全員を対象に7月10日(月)から14日(金)の5日間にわたり実施され、当工業団地では8社が受け入れを行い、生徒達がそれぞれの企業で真剣に作業に取り組んだ。受け入れ企業では、中学生ということで作業の指導、安全対策などに気を遣ったようで、ベテランの職員がきめ細かく指導に当たったようである。

生徒の作業態度はまじめで、単純な作業でも根気よくこなし、あいさつなどもきちんとできており、指導担当者からは「さまざまな作業に対応できる能力が高く感心した。」「あまり期待していなかったが、中学生に対する認識が改まった。」などの声が聞かれた。

生徒たちの感想をいくつか紹介します。

「職場体験をして仕事の大変さと、人間関係が大切だということが良くわかりました。」(男子)「袋詰めするのが楽しかったので、こういう仕事に就いてみたいと思いました。」(女子)「ボルトの種類分けなどで手が汚くなったけど、社員の人は元気にいきいきとしていたので、仕事の疲れなんてへっちゃらでした。」(男子)「この体験で工業系ではどういう仕事をしているかが分かりました。他の職業のことも知りたいので、将来に向けてじっくり考えていきたい。」(男子)

短い期間の中でもしっかり自分を見つめ、貴重な体験を得たようです。このまま素直に成長してゆくことを願っています。



## 青年部

### 総会報告

平成18年5月20日(土)19時より、片町の「いきいき亭」にて18年度青年部の総会を開催いたしました。現会員数39名中出席人数32名(委任状含む)でした。共栄セラミック(株)の沢田氏の司会で始まり、5つの議案が審議されました。

議案事項は次のとおりです。

- 第1号議案 平成17年度事業報告
- 第2号議案 平成17年度決算報告及び監査報告
- 第3号議案 平成18年度役員選任(案)
- 第4号議案 平成18年度事業計画(案)
- 第5号議案 平成18年度予算(案)

審議はやはり青年部としての役割についての事業内容に集中し議論が重ねられ総会は21時に閉会しました。

本年度も組合青年部として、安原工業団地の活性化、PRを目的として活動して行きたいと考えています。また本年度も開催予定の事業の1つ「源助大根収穫祭」などを通じて、地域の方々との交流も深めて行きたいと思っています。

18年度の事業としてはすでに5月28日(日)7時より専光寺・佐奇森浜にて中小企業青年中央会と連結しクリーンビーチへの参加も行っています。



### 平成18年度事業計画

1. 各種会議  
会の運営を円滑にするために以下の会議を設ける  
総会(5月20日(土))  
幹事会(必要に応じ部長または副部長が招集)
2. 安原工業団地PR活動  
安原工業団地をPRする活動を開催する  
加賀野菜の栽培(8月~10月)
3. 組合の事業に対する協力に関する事業  
組合の事業に協力する為以下の事業に参加  
ソフトボール大会(9月)  
ボランティア(クリーンビーチ石川)
4. 研修会に関する事業  
会員のために資する以下の研修会を行う  
視察見学(9~11月)
5. 親睦並びに情報交換に関する事業  
会員の親睦、情報交換を図るために以下の事業を行う  
会員新年会(1~2月)
6. その他事業  
異業種交流の為以下の事業を行う  
金沢市内の他工業団地および商業団地青年部との交流(12月頃)

### 平成18年度安原工業団地青年部役員

|     |       |    |       |
|-----|-------|----|-------|
| 顧問  | 宮村 尚  | 幹事 | 三島 克也 |
| 部長  | 塚本 一樹 | 同  | 山岸 尚紀 |
| 副部長 | 越野 祐司 | 同  | 岡村 昇  |
| 副部長 | 北村 直樹 | 同  | 米澤 隆亮 |
| 会計  | 沢田 滋  | 監事 | 紙本 敬章 |
| 幹事  | 米澤 秀輝 | 同  | 野村 了  |

## 女性部

### 総会及び事業紹介

安原工業団地(協、女性部「桜梅桃梨の会」)の、第4回通常総会は、平成18年6月2日(金)、ホテル日航金沢「弁慶」にて行いました。総会後には年に一度の懇親会も行っています。谷村新理事長にも、参加していただき、組合女性部の事業内容等を説明し協力をお願いしました。本年度事業の内容は次の通りです。



1. 講習会、研修会に関する事業  
会員のために資する各種講習会、研修会を行う。
2. 親睦並びに情報交換に関する事業  
会員相互の親睦並びに情報交換を図る。
3. 組合の事業に対する協力に関する事業  
各種組合事業に協力する。
4. ボランティア活動推進に対する事業  
古切手収集及びプルタブ収集を通じて福祉団体へのボランティア活動を行う。
5. 目的達成のために必要な事業  
会の運営を円滑にするため理事会を開催する。
6. 安原工業団地内の緑化推進

女性部創設以来、試行錯誤の連続でしたが、当初の念願であった「自分達の学びの場を作りたい」との思いも、年毎に充実し、研修会も意義あるものが展開されています。今年度は、地元、安原の生産農家の方を講師に招き、南部集荷場の見学や、収穫体験も計画しています。異業種に学ぶ事で視野を広げ、地域社会に貢献できるものと確信しています。また、工業団地内の緑化事業では、今年度、金沢市よりプランターの数を増加していただきました。一部の道路ですが、四季折々に可愛い花が咲き、皆様の目を楽しませています。水やり等でお世話をされている方々には本当に感謝しています。「緑が多く、花咲き誇る工業団地には、良い人材が集るよ!」という山出金沢市長の激励を忘れず、地道な活動ですが継続して行きます。また、今年度は、全国中小企業団体中央会女性部の全国講習会、「平成18年度レディース中央会全国フォーラムin石川」が全国から500名が参加して金沢で行なわれます。当女性部も全会員あけて協力しています。色々な機会を成長のチャンスと捕らえて、組合女性部の発展に尽力してまいります。

### あとがき

組合創立以来10年の節目を経てようやく会報の発刊にこぎつきました。昨年度まで続けてきた異業種交流促進事業の広報活動の一環として予算をいただき、作成したものです。内容は十分なものとは言えませんが、発行を重ねながら魅力ある会報に育てたいと思っています。ご意見、ご感想、ご提案をお聞かせください。またいろいろなニュース、トピックスなどぜひ事務局までお寄せください。

発行責任者 谷村 達夫  
編集委員 相川外志子、岩上 伸人、大平 邦久  
奥野 龍雄、小番 久典、田中 泰  
塚本 一樹、入口 吉男、山口美枝子